

○当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／その他資産（商品）	
信託期間	無期限	
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> 主として金現物抛売型上場外国信託「SPDR（スパイダー）[®] ゴールド・シェア※1」への投資を行うと共に、その投資金額相当額の米ドルについて原則として為替ヘッジを行うことにより、金地金価格を示す「LBMA 午後金価格（1トロイオンス当たり／米ドルベース）※2」の円ヘッジベースの動向を反映する投資成果の獲得を目指します。 ※1 正式名称：SPDR[®] Gold Shares ※2 正式名称：「LBMA Gold Price PM」（ICEベンチマーク・アドミニストレーション（ICE Benchmark Administration）が、午後決め値として公表する、1トロイオンス当りの米ドル建ての金価格）LBMA は、ロンドン貴金属市場協会（London Bullion Market Association）の略称 	
主要運用対象	SPDR（スパイダー） [®] ゴールド・シェア	金地金等
	短期国債マザーファンド	日本の短期公社債等
組入制限	<ul style="list-style-type: none"> 金現物抛売型上場外国信託およびマザーファンドへの投資割合には制限を設けません。 株式への投資は、転換社債の転換請求および新株予約権の行使により取得可能なもの限り、実質投資割合は信託財産の純資産総額の10%以下とします。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 	
分配方針	<p>毎決算時に、原則として次の通り収益分配を行う方針です。</p> <p>①分配対象額の範囲 分配対象額は、経費控除後の利子・配当収入および売買益（評価益を含みます）等の範囲内とします。</p> <p>②分配方針 分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象金額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。</p> <p>③留保益の運用方針 収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、元本部分と同一の運用を行います。</p>	

STATE STREET GLOBAL ADVISORS

ステートストリート・ゴールドファンド （為替ヘッジあり）

第10期 運用報告書(全体版)
（決算日 2022年8月22日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申しあげます。

この度、「ステートストリート・ゴールドファンド（為替ヘッジあり）」は、2022年8月22日に第10期の決算を行いましたので、運用状況をご報告させていただきます。

今後とも、ご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

<ファンドに関する照会先>

営業部

電話番号 03(4530)7333

お問い合わせ時間（営業日） 9:00～17:00

ホームページアドレス www.ssga.com/jp

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

〒105-6325 東京都港区虎ノ門一丁目23番地1号 虎ノ門ヒルズ森タワー25階

◎最近5期の運用実績

決算期	基準価額			<参考指数>		受益証券 発行信託の 受益証券 組入比率	債券 組入比率	債券先物 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	期中 騰落率	期中 騰落率				
第6期('18年8月20日)	円	円	%		%	%	%	%	百万円
	5,851	0	△11.1	6,208	△11.2	98.3	-	-	731
第7期('19年8月20日)	7,077	0	21.0	7,631	22.9	97.4	0.0	-	1,283
第8期('20年8月20日)	8,857	0	25.2	9,878	29.4	99.5	0.0	-	3,560
第9期('21年8月20日)	8,006	0	△9.6	8,803	△10.9	99.3	0.0	-	4,532
第10期('22年8月22日)	7,697	0	△3.9	8,565	△2.7	99.7	0.0	-	5,365

(注1) 参考指数は「LBMA午後金価格（1トロイオンス当たり/米ドルベース）」の円ヘッジベースで、LBMA午後金価格（1トロイオンス当たり/米ドルベース）について、投資信託の会計基準に合わせて委託会社が円ヘッジ効果を勘案のうえ、ファンド設定日を10,000として指数化したものです。

(注2) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しています。

◎当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		<参考指数>		受益証券 発行信託の 受益証券 組入比率	債券 組入比率	債券先物 組入比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率			
(期首) '21年8月20日	円	%		%	%	%	%
	8,006	-	8,803	-	99.3	0.0	-
8月末	8,135	1.6	8,884	0.9	99.4	0.0	-
9月末	7,742	△3.3	8,572	△2.6	100.6	0.0	-
10月末	8,066	0.7	8,902	1.1	99.2	0.0	-
11月末	7,994	△0.1	8,813	0.1	98.6	0.0	-
12月末	8,077	0.9	8,848	0.5	99.7	0.0	-
'22年1月末	8,001	△0.1	8,816	0.1	100.1	0.0	-
2月末	8,449	5.5	9,290	5.5	100.2	0.0	-
3月末	8,623	7.7	9,538	8.4	98.2	0.0	-
4月末	8,387	4.8	9,284	5.5	100.6	0.0	-
5月末	8,225	2.7	9,124	3.6	100.2	0.0	-
6月末	8,049	0.5	8,918	1.3	100.2	0.0	-
7月末	7,758	△3.1	8,592	△2.4	97.7	0.0	-
(期末) '22年8月22日	7,697	△3.9	8,565	△2.7	99.7	0.0	-

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 参考指数は「LBMA午後金価格（1トロイオンス当たり/米ドルベース）」の円ヘッジベースで、LBMA午後金価格（1トロイオンス当たり/米ドルベース）について、投資信託の会計基準に合わせて委託会社が円ヘッジ効果を勘案のうえ、ファンド設定日を10,000として指数化したものです。

(注3) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注4) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しています。

当期の運用実績

(2021年8月21日から2022年8月22日まで)

基準価額と参考指数の推移



(注) 参考指数は「LBMA午後金価格(1トロイオンス当たり/米ドルベース)」の円ヘッジベースで、LBMA午後金価格(1トロイオンス当たり/米ドルベース)について、投資信託の会計基準に合わせて委託会社が円ヘッジ効果を勘案のうえ、前期末の基準価額にあわせて指数化したものです。

決算期	期首基準価額 (分配落ち)	期末基準価額 (分配落ち)	分配金	基準価額 騰落率	参考指数 騰落率
第10期	8,006円	7,697円	0円	-3.9%	-2.7%

当期末の基準価額は7,697円となり、前期末の8,006円に比べて309円の下落となりました。

基準価額の変動要因

参考指数(「LBMA 午後金価格(1トロイオンス当たり/米ドルベース)」の円ヘッジベース)の動きをほぼ反映して、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境」をご参照ください。

参考指数との比較

基準価額の騰落率は-3.9%となり、参考指数の騰落率(-2.7%)を1.2%下回りました。主な投資対象である外国投資信託の信託管理報酬等を含む実質的な信託報酬の影響など不可避免的な要因を控除すると、基準価額は参考指数と概ね同等の投資成果を安定的に獲得できたと考えています。

収益分配金

当期の収益分配金は基準価額の水準、市況動向などを勘案した結果、見送りとしております。また収益分配に充てず信託財産に留保した収益は、特に制限を設けず、元本部分と同様の運用を行う方針です。

投資環境

(2021年8月21日から2022年8月22日まで)

金価格市況

当期の世界の金融市場では、世界的なインフレ圧力への対応に伴う各国中央銀行の金融引き締めにより景気減速に対する懸念が高まる中、世界的に株式市場が下落しました。債券市場でも、インフレ圧力懸念を受けて、各国中央銀行が金融引き締めを実施したことを背景に世界的に利回りが大幅に上昇しました。但し、日本では強固な長期金利管理政策を背景に金利の動きは抑制されました。

このような環境下で、金価格は下落しました。米国の金融引き締め加速を受けて米ドルが相対的に上昇したことで、世界の基軸通貨である米ドルの代替として位置づけられる金の価値が減少しました。

LBMA 午後金価格(1トロイオンスあたり)の推移



運用の概況

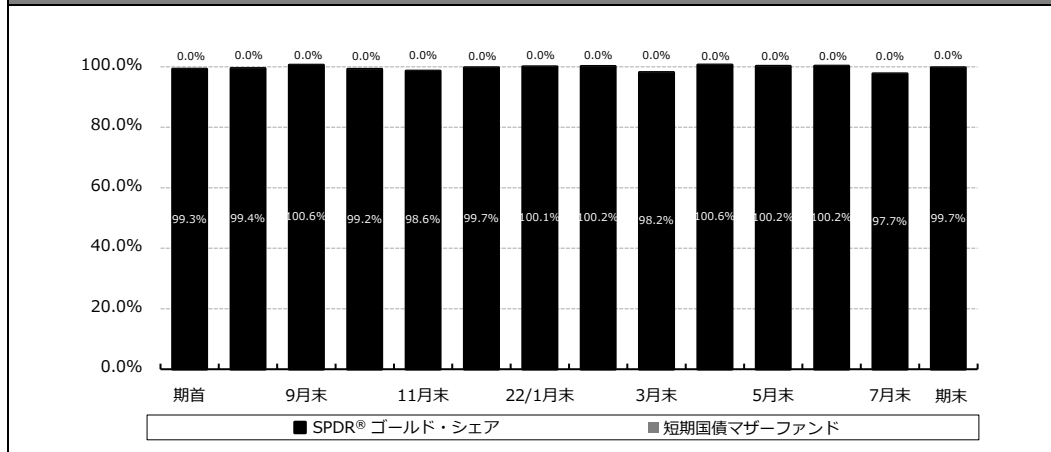
（2021年8月21日から2022年8月22日まで）

当ファンドは、主として金現物拋出型上場外国信託「SPDR[®]ゴールド・シェア」への投資を行うと共に、その投資金額相当額の米ドルについて原則として為替ヘッジを行うことにより、金地金価格を示す「LBMA午後金価格(1トロイオンス当たり/米ドルベース)」の円ヘッジベースの動向を反映する投資成果の獲得を目指して運用を行うことを基本的な運用方針としています。また、主として国債を中心に日本の短期公社債等に投資を行い、安定した投資成果の獲得を目指す親投資信託「短期国債マザーファンド」受益証券にも投資を行います。外国信託受益証券への投資は原則として高位を維持し、その投資金額相当の米ドルについては原則として為替ヘッジを行います。

受益証券発行信託の受益証券・マザーファンドの組入状況

当期末、設定・解約や為替ヘッジ評価損益の変化に伴う一時的な増減を除き、受益証券発行信託の受益証券（SPDR[®]ゴールド・シェア）を高位に組み入れました。

受益証券発行信託の受益証券・マザーファンド組入状況の推移



今後の運用方針

今後も引き続き、短期資金運用の一環として安定した投資成果の獲得を目指す親投資信託「短期国債マザーファンド」受益証券への投資を低位に維持しながら、主として金現物拋出型上場外国信託「SPDR[®]ゴールド・シェア」への投資を行うと共に、その投資金額相当額の米ドルについて原則として為替ヘッジを行うことにより、金地金価格を示す「LBMA午後金価格(1トロイオンス当たり/米ドルベース)」の円ヘッジベースの動向を反映する投資成果を目指します。

◎1万口(元本 10,000 円)当たりの費用の明細

項 目	当 期 (2021年8月21日~2022年8月22日)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
平均基準価額	8,125円	-	期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬	40円	0.498%	(a)信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率 消費税は報告日の税率を採用しています。
（投信会社）	（ 9）	（0.111）	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	（ 29）	（0.354）	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内での ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	（ 3）	（0.033）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の 対価
(b) 売買委託手数料	0	0.002	(b)売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中 の平均受益権口数
（受益証券発行信託の受益証券）	（ 0）	（0.002）	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売 買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c)有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中 の平均受益権口数
（受益証券発行信託の受益証券）	（ 0）	（0.000）	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生 する取引に関する税金
(d) その他費用	2	0.021	(d)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受 益権口数
（保管費用）	（ 1）	（0.010）	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払 う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の 移転等に要する費用
（監査費用）	（ 1）	（0.011）	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの 監査に係る費用
（その他）	（ 0）	（0.000）	・その他は、金銭信託手数料及び LEI 支払手数料
合 計	42円	0.521%	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含みます)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含みます)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、各項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

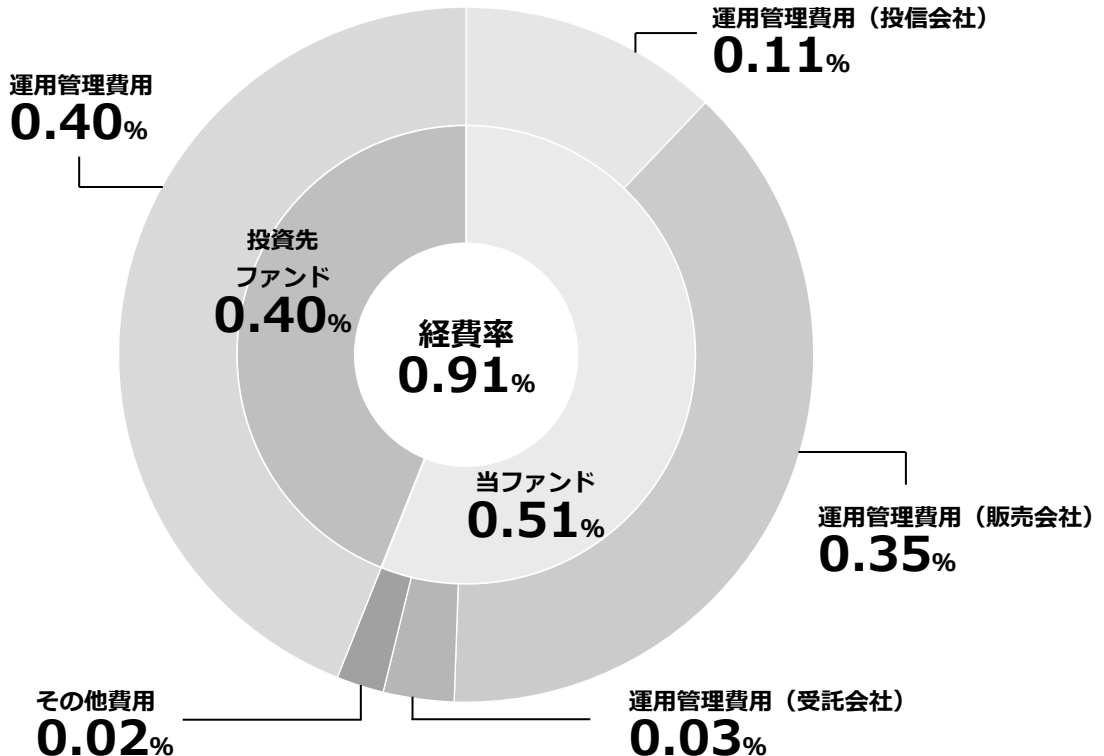
(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

（参考情報）

○経費率(投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。)

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した**経費率(年率)は0.91%です。**



経費率 (①+②)	0.91%
①当ファンドの費用の比率	0.51%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.40%

(注1) 当ファンドの費用は1万円当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

◎売買および取引の状況（'21年8月21日から'22年8月22日まで）

○受益証券発行信託の受益証券

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国	(アメリカ) SPDR® ゴールド・シェア	百口 525	千米ドル 8,918	百口 585	千米ドル 10,326

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 単位未満は切り捨てています。

◎主要な売買銘柄（'21年8月21日から'22年8月22日まで）

○国内公社債(短期国債マザーファンドにおける主要な売買銘柄)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
第 1023 回 国庫短期証券	5,005,707	第 998 回 国庫短期証券	1,000,015
第 1028 回 国庫短期証券	5,002,860		
第 1016 回 国庫短期証券	3,003,606		
第 1066 回 国庫短期証券	2,503,037		
第 1052 回 国庫短期証券	2,502,610		
第 1102 回 国庫短期証券	1,502,278		
第 1103 回 国庫短期証券	1,500,475		

(注1) 金額は受渡代金です(経過利子分は含まれていません)。

(注2) 国内の現先取引によるものは含まれていません。

(注3) 単位未満は切り捨てています。

◎利害関係人との取引状況等（'21年8月21日から'22年8月22日まで）

○当期中の利害関係人との取引状況

区 分	当 期			期		
	買付額等A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
為替先物取引	百万円 70,591	百万円 11,119	% 15.8	百万円 70,198	百万円 11,105	% 15.8

(注) 単位未満は切り捨てています。

○当期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売 買 委 託 手 数 料 総 額 (A)	-千円
う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額 (B)	-千円
(B) / (A)	-%

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、STATE STREET BANK AND TRUST COMPANYです。

◎組入資産の明細（'22年8月22日現在）

○受益証券発行信託の受益証券残高

種 類	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
(アメリカ)	口	口	千円
S P D R [®] ゴ ー ル ド ・ シ ェ ア	245,728	239,728	5,350,801
合 計	245,728	239,728	5,350,801

(注) 単位未満は切り捨てています。

○親投資信託残高

種 類	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
短 期 国 債 マ ザ ー フ ァ ン ド	98	98	99
合 計	98	98	99

(注1) 単位未満は切り捨てています。

(注2) 当期末における短期国債マザーファンド全体の口数は18,738,608千口です。

当期末における株式および新株予約権証券の残高はありません。

下記は、短期国債マザーファンド全体(18,738,608千円)の内容です。

○国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末						
	額面金額	評 価 額	組入比率	組入比率 (うちBB格以下)	残存期間別組入比率		
	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上	2年未満
国 債 証 券	13,000,000 (13,000,000)	13,007,509 (13,007,509)	68.6 (68.6)	- (-)	- (-)	- (-)	68.6 (68.6)
合 計	13,000,000 (13,000,000)	13,007,509 (13,007,509)	68.6 (68.6)	- (-)	- (-)	- (-)	68.6 (68.6)

(注1) 評価については、原則として金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注2) ()内は非上場債であり、上段の数字の内訳です。

(注3) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注4) 格付については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注5) 金額の単位未満は切り捨てています。

○国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

種 類	銘 柄 名	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償還年月日
		%	千円	千円	
国 債 証 券	第 1023 回 国庫短期証券	-	5,000,000	5,000,525	2022/ 9 /20
	第 1052 回 国庫短期証券	-	2,500,000	2,501,747	2023/ 1 /20
	第 1066 回 国庫短期証券	-	2,500,000	2,502,292	2023/ 3 /20
	第 1102 回 国庫短期証券	-	1,500,000	1,502,464	2023/ 8 /21
	第 1103 回 国庫短期証券	-	1,500,000	1,500,480	2022/11/21
	合 計		13,000,000	13,007,509	

(注1) 評価については、原則として金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。

◎投資信託財産の構成('22年8月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
S P D R ® ゴ ー ル ド ・ シ ェ ア	5,350,801	98.9
短 期 国 債 マ ザ ー フ ァ ン ド	99	0.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	61,274	1.1
投 資 信 託 財 産 総 額	5,412,174	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは、1米ドル=137.17円です。

(注2) 当期末における外貨建純資産(5,356,435千円)の投資信託財産総額(5,412,174千円)に対する比率は99.0%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

◎資産、負債、元本および基準価額の状況

('22年8月22日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A)資 産	11,191,959,955
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	57,621,702
SPDR®ゴールド・シェア(評価額)	5,350,801,453
短期国債マザーファンド(評価額)	99,401
未 収 入 金	5,783,437,399
(B)負 債	5,826,557,628
未 払 金	5,803,806,377
未 払 解 約 金	9,241,650
未 払 信 託 報 酬	13,215,835
未 払 利 息	139
そ の 他 未 払 費 用	293,627
(C)純 資 産 総 額 (A-B)	5,365,402,327
元 本	6,970,684,404
次 期 繰 越 損 益 金	△ 1,605,282,077
(D)受 益 権 総 口 数	6,970,684,404口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D×10,000)	7,697円

- (注1) 期首元本額 5,661,146,666円
 期中追加設定元本額 4,521,688,272円
 期中一部解約元本額 3,212,150,534円
 (注2) 純資産総額は元本額を下回っており、その差額は
 1,605,282,077円です。

◎損益の状況

当期 (自'21年8月21日 至'22年8月22日)

項 目	当 期
	円
(A)配 当 等 収 益	△ 61,357
受 取 利 息	2,096
支 払 利 息	△ 63,453
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	△ 268,508,641
売 買 損 益	1,214,541,640
売 買 損 益	△ 1,483,050,281
(C)信 託 報 酬 等	△ 26,272,768
(D)当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 294,842,766
(E)前 期 繰 越 損 益 金	9,078,168
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	△ 1,319,517,479
(配 当 等 相 当 額)	(1,418,238,766)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 2,737,756,245)
(G) 計 (D + E + F)	△ 1,605,282,077
(H)収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	△ 1,605,282,077
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 1,319,517,479
(配 当 等 相 当 額)	(1,418,238,766)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 2,737,756,245)
分 配 準 備 積 立 金	181,009,486
繰 越 損 益 金	△ 466,774,084

- (注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。
 (注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。
 (注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。
 (注4) (F)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注5) 分配金の計算過程

A	費用控除後の配当等収益	0円
B	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益	0円
C	収益調整金	1,418,238,766円
D	分配準備積立金	181,009,486円
E	分配対象収益 (A+B+C+D)	1,599,248,252円
F	分配対象収益 (1 万口当たり)	2,294円
G	分配金	0円
H	分配金 (1 万口当たり)	0円

◎1 万口当たり分配原資の内訳(税込み)

項 目	第 10 期 (2021 年 8 月 21 日～ 2022 年 8 月 22 日)
当期分配金	- 円
(対基準価額比率)	- %
当期の収益	- 円
当期の収益以外	- 円
翌期繰越分配対象額	2,294 円

- (注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
- (注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<参考情報> 投資対象とする外国信託の主な概要

ファンド名 (英語)	SPDR® Gold Trust
ファンド名 (日本語)	SPDR® ゴールド・トラスト
商品性と仕組み	金地金価格を示す「LBMA 午後金価格 (1 トロイオンス当たり/米ドルベース) (注1)」の動向を反映する投資成果の獲得を目指す信託契約の受益証券であり、信託資産全体の一部を分割出来ない形で所有する権利を保有しています。信託される資産は、主に金地金と現金に限られ、金地金は英国ロンドンにおいて特定保管 (他の金地金と分離して専用保管) されます。
計算期間	毎年 10 月 1 日から 9 月 30 日まで
管理会社 (スポンサー)	ワールド・ゴールド・トラスト・サービス・エルエルシー (World Gold Trust Services, LLC)
信託受託者	ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・ Mellon の一部門である BNY・ Mellon・アセット・サービシング (BNY Mellon Asset Servicing, a division of The Bank of New York Mellon)
マーケティング エージェント	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ・ファンズ・ディストリビューターズ・エルエルシー (注2) (State Street Global Advisors Funds Distributors, LLC)
カストディアン	エイチエスピーシー・バンク・ピーエルシー (HSBC Bank plc) (注3)

- ※SPDR® Gold Shares(日本語名: SPDR®ゴールド・シェア)とは、SPDR® Gold Trust(日本語名: SPDR®ゴールド・トラスト)の受益権を示しています。
- (注1) 2015年3月19日付けでこれまでの「ロンドン午後金値決め価格 (1 トロイオンス当たり/米ドルベース)」が廃止されたことにより、2015年3月20日からその後継である「LBMA 午後金価格 (1 トロイオンス当たり/米ドルベース)」に変更されています。
- (注2) 2017年5月1日付で State Street Global Markets, LLC (以下「SSGM」) は State Street Global Advisors Funds Distributors, LLC に社名変更いたしました。
- (注3) 2014年12月22日から本ファンドのカストディアンを務めています。2014年12月22日以前は、HSBC 銀行 USA (HSBC Bank USA, N.A.)がカストディアンを務めていました。

◎損益および純資産変動計算書（要約）
（計算期間：2020年10月1日～2021年9月30日）
受益権および受益権1口当たりのデータ以外、千米ドル

（単位：千米ドル）

費用	
スポンサー報酬	257,595
費用合計	257,595
費用の減額	—
費用純額	257,595
純投資損失	(257,595)
金投資における未実現利益(損失)の純実現額および変動額	
費用支払のために売却した金投資の純実現利益(損失)	43,413
受益権の償還により分配した金の純実現利益(損失)	4,455,284
金投資における未実現の価値増加(減少)の純変動額	(9,987,571)
金投資における未実現利益(損失)の純実現額および変動額	(5,488,874)
純利益(損失)	(5,746,469)
受益権1口当たり純利益(損失) (米ドル)	(15.25)
加重平均受益権数(千口)	376,931
純利益(損失)の営業活動により生じた純キャッシュへの調整	
純利益(損失)	(5,746,469)
純利益(損失)を営業活動により生じた純キャッシュへの調整項目	
費用支払のために売却した金による収入	264,295
費用支払のために売却した金投資の純実現(利益)損失	(43,413)
受益権の償還により分配した金の純実現(利益)損失	(4,455,284)
金投資における未実現の価値増加(減少)の純変動額	9,987,571
スポンサーに対する未払金の増加(減少)	(6,700)
営業活動により生じた純キャッシュ	—
純資産－期首残高	76,952,551
設定	11,694,069
償還	(27,444,877)
純投資損失	(257,595)
費用支払のために売却した金投資の純実現利益(損失)	43,413
受益権の償還により分配した金の純実現利益(損失)	4,455,284
金投資における未実現の価値増加(減少)の純変動額	(9,987,571)
純資産－期末残高	55,455,274

投資状況

資産の種類	国名 ^(注1)	時価合計 ^(注2)	2021年9月30日現在 運用比率(%)
金	英国	\$ 55,474,022,504	100%
現金	該当なし	\$0	0%
その他の資産(負債控除後)		\$0	0%
合計(純資産総額)		\$ 55,474,022,504	100%

(注1) 物理的な所在地を記載しています。

(注2) 時価合計には、金の未収入金を含みます。

短期国債マザーファンド

第 13 期 運用報告書 (決算日 2022 年 4 月 15 日)

短期国債マザーファンドの第 13 期の運用状況をご報告させていただきます。

○当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	<ul style="list-style-type: none"> ・国債を中心に日本の短期公社債等に投資を行い、安定した投資成果を目指して運用を行います。 ・債券組入比率は原則として高位を維持します。
主要運用対象	日本の短期公社債等
組入制限	<ul style="list-style-type: none"> ・公社債への投資割合には制限を設けません。 ・満期1年を超える公社債への投資は行いません。 ・株式への投資は、転換社債の転換請求および新株予約権の行使による取得に限り、投資割合は信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建資産への投資は行いません。

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

〒105-6325 東京都港区虎ノ門一丁目 23 番地 1 号 虎ノ門ヒルズ森タワー 25 階

◎最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債券 組入比率	債券 先物比率	純資産 総額
	円	騰落率			
9期('18年4月16日)	10,161	△ 0.1	-	-	63,801
10期('19年4月15日)	10,152	△ 0.1	-	-	79,750
11期('20年4月15日)	10,142	△ 0.1	-	-	86,424
12期('21年4月15日)	10,132	△ 0.1	96.1	-	28,622
13期('22年4月15日)	10,120	△ 0.1	72.0	-	18,062

(注1) 当ファンドは主として満期1年以内の日本の国債を投資対象としておりますが、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等を設けておりません。

(注2) 先物比率 = 買建比率 - 売建比率

◎当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		債券 組入比率	債券 先物比率
	円	騰落率		
(期首)	円	%	%	%
'21年4月15日	10,132	-	96.1	-
4月末	10,131	△ 0.0	52.7	-
5月末	10,131	△ 0.0	65.0	-
6月末	10,130	△ 0.0	78.4	-
7月末	10,129	△ 0.0	89.9	-
8月末	10,128	△ 0.0	95.2	-
9月末	10,127	△ 0.0	87.4	-
10月末	10,126	△ 0.1	79.5	-
11月末	10,126	△ 0.1	83.4	-
12月末	10,124	△ 0.1	77.9	-
'22年1月末	10,122	△ 0.1	75.6	-
2月末	10,121	△ 0.1	71.1	-
3月末	10,120	△ 0.1	72.6	-
(期末)				
'22年4月15日	10,120	△ 0.1	72.0	-

(注1) 騰落率は期首比です。

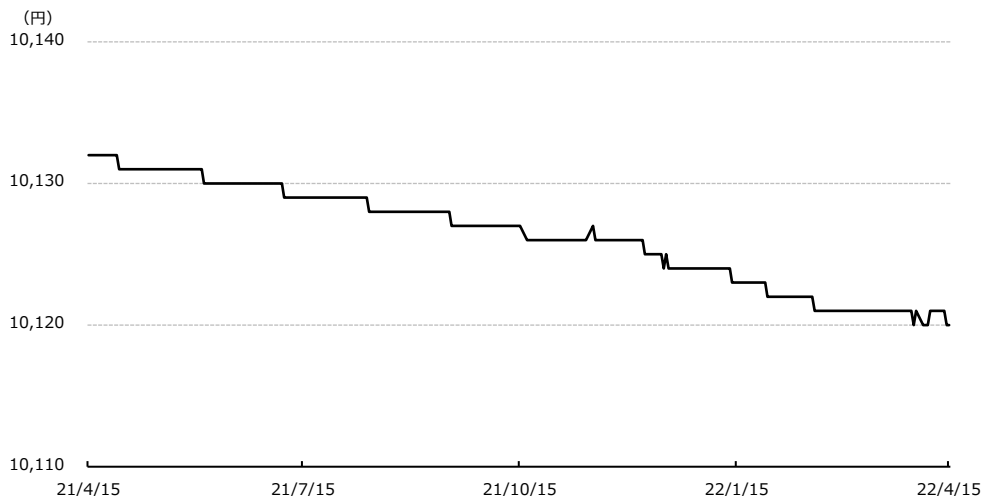
(注2) 当ファンドは主として満期1年以内の日本の国債を投資対象としておりますが、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等を設けておりません。

(注3) 先物比率 = 買建比率 - 売建比率

当期の運用実績

(2021年4月16日から2022年4月15日まで)

基準価額の推移



(注) 当ファンドは主として満期 1 年以内の日本の国債を投資対象としておりますが、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等を設けておりません。

当期末の基準価額は10,120円となり、前期末の10,132円に比べて12円の下落となりました。

基準価額の変動要因

【プラスの要因】

－円キャッシュよりもマイナス幅の小さい利回りを有する債券を購入し満期まで保有したことがマイナス利回りの影響を弱め、基準価額にプラスに寄与しました。

【マイナスの要因】

－日銀によるマイナス金利政策の継続により、引き続き円キャッシュにマイナス利回りが付利されたことと債券の満期保有利回りがマイナスとなったことが基準価額に対してマイナスに寄与しました。

投資環境

(2021年4月16日から2022年4月15日まで)

短期国債市場

当期の短期国債市場は、日銀による金融緩和の継続が債券の買い支えとなりました。

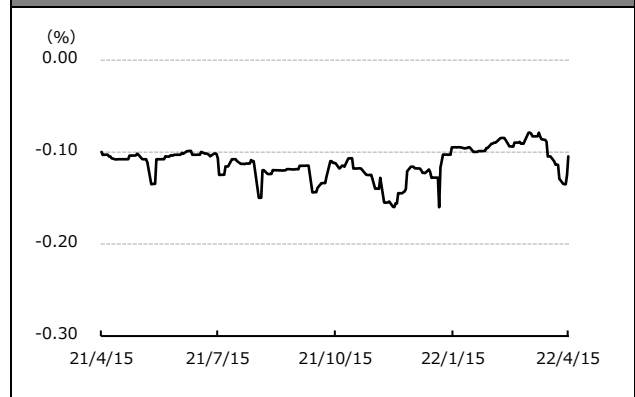
金融政策面からの影響としては、日銀による買い入れオペが継続したことが短期国債市場の下支え要因となりました。

国外要因としては、2022年に入り、各国インフレ率上昇圧力の継続や各国中銀の金融政策の引き締めスタンスが意識されたことを背景に債券の売りが優勢となり、国内短期国債市場も軟調な展開となりました。

需給面では、期前半は安定的な需給環境が継続しました。期後半は、11月、旺盛な需要を背景に堅調な展開となり、3か月物国庫短期証券の利回りのマイナス幅が拡大しましたが、2021年末にかけて需要が落ち着く中で3か月物国庫短期証券の平均落札利回りは上昇しました。

3か月物国庫短期証券利回りは、前期末の-0.100%から0.005%低下し、-0.105%で当期末を迎えました。

3か月物国庫短期証券利回り



運用の概況

(2021年4月16日から2022年4月15日まで)

当マザーファンドは、主として国債を中心に日本の短期公社債などに投資を行い、安定した投資成果の獲得を目指して運用を行うことを基本的な運用方針としています。公社債への投資は原則として高位を維持し、外貨建資産に対する投資は行っておりません。

日銀によるマイナス金利政策が継続され、短期国債市場で債券のマイナス利回りが恒常化しております。こうした環境下においては、マイナス金利の影響を抑制するために円キャッシュ利回りのマイナス幅と債券利回りのマイナス幅を比較し、債券購入によって円キャッシュよりも高い利回りを享受しうる場合に債券を購入しました。

今後の運用方針

上述のように、短期国債市場の流動性が低下し、かつマイナス金利が恒常化する環境においては、今後も引き続き短期国債市場を注視し、円キャッシュよりも高い利回りを有する短期国債の購入機会を探りながら安定した投資成果を目指します。

◎1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細

項目	当期 (2021年4月16日~2022年4月15日)		項目の概要
	金額	比率	
平均基準価額	10,126円	-	期中の平均基準価額です。
(a) その他費用 (その他)	0円 (0)	0.000% (0.000)	(a)その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数 ・その他は、金銭信託手数料
合計	0円	0.000%	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含みます)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含みます)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、各項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(注3) 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

◎売買および取引の状況('21年4月16日から'22年4月15日まで)

○公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	40,422,887	4,000,096 (50,900,000)

(注1) 金額は受渡代金です(経過利子分は含まれていません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

(注3) 単位未満は切り捨てています。

◎主要な売買銘柄('21年4月16日から'22年4月15日まで)

○公社債

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
		千円	
第998回 国庫短期証券	6,001,536	第992回 国庫短期証券	3,000,081
第1023回 国庫短期証券	5,005,707	第998回 国庫短期証券	1,000,015
第1028回 国庫短期証券	5,002,860		
第1007回 国庫短期証券	5,001,215		
第1004回 国庫短期証券	5,001,030		
第992回 国庫短期証券	4,001,036		
第1016回 国庫短期証券	3,003,606		
第1066回 国庫短期証券	2,503,037		
第1052回 国庫短期証券	2,502,610		
第974回 国庫短期証券	2,400,249		

(注1) 金額は受渡代金です(経過利子分は含まれていません)。

(注2) 国内の現先取引によるものは含まれていません。

(注3) 単位未満は切り捨てています。

◎利害関係人との取引状況等('21年4月16日から'22年4月15日まで)

当期中における利害関係人との取引はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

◎組入資産の明細('22年4月15日現在)

○国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末						
	額面金額	評 価 額	組入比率	組入比率 (うちBB格以下)	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国 債 証 券	13,000,000	13,008,072	72.0	-	-	-	72.0
	(13,000,000)	(13,008,072)	(72.0)	(-)	(-)	(-)	(72.0)
合 計	13,000,000	13,008,072	72.0	-	-	-	72.0
	(13,000,000)	(13,008,072)	(72.0)	(-)	(-)	(-)	(72.0)

(注1) 評価については、原則として金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注2) ()内は非上場債であり、上段の数字の内訳です。

(注3) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注4) 格付については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注5) 金額の単位未満は切り捨てています。

○国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

種 類	銘 柄 名	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
		%	千円	千円	
国 債 証 券	第 1016 回 国庫短期証券	-	3,000,000	3,001,137	2022/ 8/22
	第 1023 回 国庫短期証券	-	5,000,000	5,002,335	2022/ 9/20
	第 1052 回 国庫短期証券	-	2,500,000	2,502,182	2023/ 1/20
	第 1066 回 国庫短期証券	-	2,500,000	2,502,417	2023/ 3/20
合 計			13,000,000	13,008,072	

(注1) 評価については、原則として金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。

当期末における株式および新株予約権証券の残高はありません。

◎投資信託財産の構成('22年4月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 13,008,072	% 72.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	5,054,611	28.0
投 資 信 託 財 産 総 額	18,062,683	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

◎資産、負債、元本および基準価額の状況

('22年4月15日現在)

項 目	当 期 末
(A)資 産	円 18,062,683,821
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 公 社 債 (評価額)	5,054,611,821 13,008,072,000
(B)負 債	14,635
未 払 利 息	13,607
そ の 他 未 払 費 用	1,028
(C)純 資 産 総 額 (A - B)	18,062,669,186
元 本	17,848,543,512
次 期 繰 越 損 益 金	214,125,674
(D)受 益 権 総 口 数	17,848,543,512口
1万口当たり基準価額 (C/D×10,000)	10,120円

(注1) 期首元本額 28,250,280,601円
 期中追加設定元本額 6,860,685,078円
 期中一部解約元本額 17,262,422,167円

(注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。

フレックス資産配分ファンド・プラス<適格機関投資家限定>	9,545,788,338円
短期国債ファンドVA<適格機関投資家限定>	5,465,604,682円
債券タムスブレッド・プレミア・ファンド<適格機関投資家限定>	1,236,782,485円
フレックス資産配分ファンド<適格機関投資家限定>	886,639,922円
債券タムスブレッド・プレミア戦略ファンド<適格機関投資家限定>	713,610,196円
ステートストリート・ゴールドファンド(為替ヘッジあり)	98,252円
ステート・ストリート新興国債券インデックス・オープン	19,637円

◎損益の状況

当期 (自'21年4月16日 至'22年4月15日)

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	円 △ 4,689,761
支 払 利 息	△ 4,689,761
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	△ 17,524,100
売 買 損	△ 17,524,100
(C)そ の 他 費 用	△ 25,758
(D)当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 22,239,619
(E)前 期 繰 越 損 益 金	372,341,643
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	85,514,939
(G)解 約 差 損 益 金	△ 221,491,289
(H) 計 (D + E + F + G)	214,125,674
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	214,125,674

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (F)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。

(注3) (G)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。